「主任制」の実施に反対を請願

陸小PT会長

『文部省は昨年十二月二十六日に教育関係者はもちろん国民の充分な理解を得ないままに学校教育法施行規則を改め、全国の小、中高校に主任をおくことを制度化しようと、都道府県教育委員会に、その実施をせまっています。

このことによって、学校に主任が設置されても現在の教育は、改善されたり、教育効果があがるということはなく、ただ教育の現場に混乱をおこさせ、教職員相互間に不信感を抱かせるばかりでなく、その結果として子どもや父母の信頼関係をも損なうことにもなるものと思います。

その上、主任に手当を支給するので、地方財政の危機が叫ばれている現在、このために要する財源があるのならば、むしろ、教育費父母負担の軽減をはかり、高校の増設や教員の定数改善などの他の教育諸条件の整備に努力することが先決でないろうかと思います。

当町の教育行政にあたっても、この主任制度の実施について、多くの町民は、教育の現場に混乱をおこし、保治の三議員の紹介で、個人の立場で陸別町議会に請願の手続をとりました。

いよう請願申し上げます』として、陸別小学校PTA会長の斉藤己氏が二千五百余名の賛成署名簿をそえ、宮古秀、鹿野竹男、林れをうけて議会として態度を決定することになるもよろです。

採択になった請願、陳情

十三日の町議会で採択になった請願、陳情はつぎのとおりです。

一、林業労働者退職金共済制度について

陸別地区労議長正垣節雄氏からの請願で、道では林業関係団体、労働団体などからの要請をうけて、民間林業労働者の退職金共済制度の五十一年度発足を目標に準備を急いでおり、この制度の完全実施のため、町の責任で関係林業事業家に参加を求め、関係林業労働者に対して趣旨の徹底をはかってほしいというもの。

二、畜産センターヘスクールバスの路線延長について

陸別町農協組合長の岡田秀雨氏からの陳情で、センター職員のなかに小学生三名、保育園児二名いるが、スクールバスの不通などで市街から通勤を余儀なくされている。道々昇格は足寄町の併用林道が必要なので協議は百八十戸で二万トンだった、

十三日の町議会ではこの請願を総務文教委員会（矢鋪正信委員長）に調査を付託しましたが、同委員会で採択かの結論をまとめて六月の定例会に報告して、その態度を決定することになるもよろです。

三、農業委員の待遇改善について

十勝農業委員会連合会長の蔵土栄氏からの陳情で、現在の農業委員の報酬などは他と比較して極めて低いので、待遇を改善してほしいというもの。

四、国道舗装について

佐藤源治氏ほか六名からの陳情で、分線地区の八五〇号は三年前に改良工事がおわったが、車の往来が激しく塵埃が甚だしく沿側の農作物、家畜に被害が大きいというもの。

五、陸別中学校の建設について

PTA会長の野尻隆士氏からの陳情で、本年度からの着工、設計後あらため長期展望に立ち関係者の意見を尊重してほしいというもの。

六、大通り（一）駐車場敷地の売払いについて

浜田猛氏（旅館）と尾崎光弘氏（自転車店）からの陳情で、改築にあたり交通安全、建築基準法、消防法、環境衛生法に適合させたいというもの。

七、道の総合開発計画にも交通事故は陸別町消防団の協力と商工会からの陳情でした。

訂正　前号、池北三町消防事務組合議会の記事中の進について

はなく足寄町消防団の誤りで、置戸から北斗満をへて足寄へ通ずる林道開発を関係機関に強くはたらきかけてほしいというもの。

耐寒試験に六百名来町

（オ一面から）

鹿野竹男氏、町民憲章の制定について検討するという特殊性をいかして寒地研究、実験所を設置する考えはないか、こんごの過疎対策はどうか。

杉田町長、本年はニツサンや小松製作所などから六百六十四名が来町して耐寒試験に利用した。寒地研究所の誘致に難点はあるがさらにPRしていく、オ一次産業に力をいれるべきで、カラマツの利用が停滞しているが、全道的なネラン峠の支障木について改めて相談していく、駐車場については、酪農はやつと一万トンに達したが一頭六〇トンくらいで、興部では百八十戸で二万トンだった、

北村国義氏、陸別の寒冷の特殊性をいかして寒地研究、実験所を設置する考えはないか、こんごの過疎対策はどうか。

杉田町長、本年はニツサンや小松製作所などから六百六十四名が来町して耐寒試験に利用した。寒地研究所の誘致に難点はあるがさらにPRしていく、オ一次産業に力をいれるべきで、カラマツの利用が停滞しているが、全道的なネラン峠の支障木について改めて相談していく、駐車場については、酪農はやつと一万トンに達したが一頭六〇トンくらいで、興部では百八十戸で二万トンだった、

どこがガン化かも考えたい。

渡辺寿氏、企画課長、係長らが努力しているがめぼしい企業がない、町としてどのように誘致運動をしているか、地元産業の育成について、足寄や上士幌と違って陸別には木材工場し制度の完全実施のため、町の責任で関係林業事業家に参加を求め、関係林業労働者に対して趣旨の徹底をはかってほしいというもの。

三、畜産センターヘスクールバスの路線延長について

陸別町農協組合長の岡田秀雨氏からの陳情で、センター職員のなかに小学生三名、保育園児二名いるが、スクールバスの不通などで市街から通勤を余儀なくされている。道々昇格は足寄町の併用林道が必要なので協議は百八十戸で二万トンだった、

家具と建材

信用は最大のサービス

技術と納期を誇る！

家具　建具　製造販売

住宅内装に新建材を！

佐藤家具建材店

足寄駅前　電話二二二一番

春物衣料を各産地から

沢山仕入れてきました

ただいま陳列を完了しまして

皆様の御用命をお待ちしております

是非御来店下さい

株式会社　前田呉服店

足寄町駅前商店街　二二二

赤外線焼付塗装ブース導入！

札幌陸運局認証　整備　板金　塗装

エナメル焼付塗装　オールU・SA塗料使用

ムトウ自動車工業

足寄町　二五七八　三七一九